

# 第2回技術交流フォーラム 「ロボット」

埼玉県内で産学連携に取り組む大学・研究機関、金融機関等で構成される「埼玉県産学連携支援ネットワーク会議」では、技術分野ごとに大学・研究機関の研究内容や成果を紹介し、企業の皆様と大学等の研究者が交流していただく技術交流フォーラムを開催いたします。

今回は、第2回「ロボット」について、参加者を募集します。

**日時** 11月28日(金) 14:00-16:50

**場所** 新都心ビジネス交流プラザ 4階会議室



**参加費** 無料

**定員** 50人/ 定員になり次第締め切らせていただきます。

**主催** 埼玉県産学連携支援ネットワーク会議  
事務局:産学連携支援センター埼玉  
(財)埼玉県中小企業振興公社・(財)さいたま市産業創造財団

**問合せ・申込み先** 産学連携支援センター埼玉  
338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2  
新都心ビジネス交流プラザ3F  
TEL 048-857-3901 FAX 048-857-3921  
http://www.saitama-j.or.jp/~sangaku/  
sangaku39@saitama-j.or.jp

## プログラム

14:00-14:50

「人とロボットの共生による技能伝承および人材育成」

埼玉大学 理工学研究科

教授 綿貫 啓一 氏

ものづくりにおける2007年問題について述べ、新たな試みであるバーチャルリアリティ技術、マルチメディア技術、ロボット技術などを融合した人とロボットの共生によるバーチャルトレーニングについて紹介する。

15:00-15:50

「RoboCupの技術とその波及効果」

東洋大学 工学部 機械ロボティクス学科

教授 松元 明弘 氏

RoboCupとはロボットワールドカップサッカーから端を発したロボット工学と人工知能の融合のプログラムである。講演者自身も参加しているRoboCupの活動の概要とその技術の波及効果や技術移転の可能性について紹介する。

16:00-16:50

「新しいロボット制御:生き物のような運動機能と知的機能の実現」

埼玉工業大学 工学部ヒューマン・ロボット学科

教授 川副 嘉彦 氏

人間や動物の複雑精妙な運動は、非線形で自由度の多い身体や四肢を巧みに制御して実現される。一方、ロボティクスは、人間や動物の運動機能を機械的に実現しようとするものにほかならない。知能の新しい見方とロボットの開発手法について紹介する。

## 埼玉県産学連携支援ネットワーク会議

|   |   |  |
|---|---|--|
| 埼玉大学<br>埼玉工業大学<br>芝浦工業大学<br>東京電機大学<br>東京理科大学<br>東洋大学<br>日本工業大学<br>ものづくり大学<br>立教大学<br>埼玉県立大学 | 理化学研究所<br>産業技術総合研究所<br>県産業技術総合センター<br>県農林総合研究センター | 埼玉りそな銀行<br>武蔵野銀行<br>群馬銀行<br>埼玉県信用金庫<br>川口信用金庫<br>青木信用金庫<br>飯能信用金庫<br>日本政策金融公庫<br>商工組合中央公庫<br>埼玉りそな産業協力財団 |
| 11大学<br>9金融機関   | 4研究機関<br>3支援機関                                    |  |
| 産学連携支援センター埼玉<br>[埼玉県中小企業振興公社]<br>[さいたま市産業創造財団]  |   |  |

FAX 048-857-3921 「第2回技術交流フォーラム ロボット」参加申込書

|         |        |
|---------|--------|
| 企業名     | 〒住所    |
| 所属・役職   | フリガナ氏名 |
| TEL FAX | E-Mail |

個人情報の利用目的: 当事業の運営並びに埼玉県産学連携支援ネットワーク会議及びその構成機関が実施する各種セミナー等の事業のご案内のみに利用させていただきます。

複数参加される場合は、この申込書をコピーをしてお申し込みください。